

2014年10月27日

保護者の皆様へ

## 2013年度 学校教育自己評価のご報告

大阪産業大学附属中学校

校長 大西 陽太郎

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は本校教育活動に深いご理解とご支援をいただき、感謝しております。

さて、9月21日に体育祭、9月26日に文化祭（梧桐祭）を行いました。中学校単独で開催するようになって5年目となる体育祭では、競技前に円陣を組んで気合を入れる姿があちらこちらで見られました。圧巻であったのは全校生徒で取り組んだソーラン踊りで、でき栄も良かったのですが、それ以上に生徒が一生懸命取り組む姿は素晴らしいものでした。そうしたことがあり、閉会式での国旗・校旗降納の際には校歌が自然発生的に歌われました。

中高合同で取り組む梧桐祭では、生徒はクラス展示に創意を凝らしていました。例年行っていた爪楊枝アートに加え、今年ビニールテープによるモザイク画が初めて展示されました。

体育祭、梧桐祭の様子は、本校ホームページに動画を含めて掲載しています。本校はたくさんの行事を行っていますが、そうした中で、生徒は元気に明るくそして楽しく学校生活を送っていると考えています。

本校の建学の精神は「偉大なる平凡人たれ」という言葉です。建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡に見られる日常生活をきちんと送っていくことは偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。1学年2クラスという小規模校の利点を活かして、一人ひとりに目を行き届かせ、建学の精神に基づき、地道にたゆまず努力していくことを大切にしている教育を行っています。

学校教育法の改正に伴い学校評価が義務付けられ、本校では生徒に「授業を受ける態度と学習についての自己評価・学校生活アンケート」とともに、授業科目ごとの「授業アンケート」に回答を求めています。2013年度のアンケート結果を踏まえて、今後の課題を明らかにします。

### 1. 2013年度 授業アンケートの結果

昨年度3学期に実施した授業アンケートの全教科平均の結果は、別表の通りです。学校としてはさらにクラス・教科ごとに細かくまとめ、一人ひとりの教員に自らの研鑽の糧となるように担当クラスごとの結果を返すようにしています。

「授業は分かりやすいですか」との問いには、「どちらかという」とを含めると8割台半ばの生徒が肯定的な回答をしています。また、「授業は、生徒の疑問や質問にきちんと応えていますか」「授業は、先生の問いに答えたり発表したりするなど参加しやすいものですか」との問いにも、「どちらかという」と

を含めると、それぞれ9割前後、9割近くの生徒が肯定的な回答をしています。

「この教科の内容は理解できますか」との問いには、「だいたい理解できる」を含めても「理解できる」という回答は8割前半となります。これは「この教科の勉強を日常していますか」との問いに、「ときどき」というものを含めても「日常している」という回答が4割台であることの反映であると言えます。

「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

生徒が答えた「学習についての自己評価アンケート」では、「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」との項目に「だいたい」というものを含めると8割台半ばの生徒が肯定的な回答をしています。「生徒が主体的に学習に取り組めるようにしていく」ことについて、生徒の意欲を引き出す指導や、理解の遅れがちな生徒への対策とともに、日常的に宿題や課題を課すことを強めるようにしていきます。

## 2. 「授業は分かりやすいですか」との問いへの回答の経年比較

「授業は分かりやすいですか」との問いへの回答を経年比較すると、以下の表になります。「どちらかというと」を含めた「分かりやすい」との回答は、中学校の学習内容が難しくなっていくこともあり、2年生では一旦低くなりますが、3年生になると1年生の時を4～5ポイント上回るようになります。

「分かりやすい授業」への取り組み、きめ細やかな学習指導が、一定程度反映していると言えるのではないのでしょうか。

「授業は分かりやすいですか」との設問に、 「どちらかというと」を含め「分かりやすい」と回答した比率			
2009年度入学生	2009年度	2010年度	2011年度
	87%	85%	91%
2010年度入学生	2010年度	2011年度	2012年度
	83%	82%	88%
2011年度入学生	2011年度	2012年度	2013年度
	80%	78%	85%
2012年度入学生	2012年度	2013年度	
	75%	84%	
2013年度入学生	2013年度	2014年度	2015年度
	85%		

## 3. 2013年度 学校生活アンケートの結果

「学校生活についてのアンケート」は、2013年度は2年生・3年生のみの集計となっており、経年比較することができないものとなりました。

生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答をしたパーセントは、2010年度からの4年間について、各項目で下記の表のようになります。2010年度から12年度までは、全学年の数値、2013年度は、2年生・3年生の数値となっています。

注目すべきは、2013年度の2年生・3年生の数値が「この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる」という項目を除き、肯定的な回答が最も高くなっていることです。入学後の教育実践を通じて、本校への肯定的な評価が高まっていることが考えられるのではないのでしょうか。

引き続き、教育実践をすすめていくとともに、正確なアンケートを実施し、アンケートに示される生徒の意識に注目して、本校教育の一層の発展を図るようにしていきます。

	10年度	11年度	12年度	13年度
この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる。	65%	69%	75%	76%
この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる。	71%	70%	70%	75%
この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている。	72%	76%	82%	94%
この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している。	65%	70%	79%	90%
この学校の生徒は、遅刻しないように努力している。	48%	55%	63%	70%
この学校の生徒は、校則を守っている。	54%	65%	61%	72%
この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる。	68%	75%	63%	67%
この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	75%	70%	75%	85%
私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている。	64%	66%	70%	73%